



継続は市民力なり～新たな一歩へ！



お陰様で開校10周年記念行事も皆様のご協力により無事終わることができました。本当にありがとうございました。

「継続は力なり」という表現をよく耳にします。「継続そのものが大きな力となり得る」という解釈、「継続は(意志の)力なり」そこには「強い意志の存在がある」という解釈があります。その意義を当カレッジに当てはめるとすれば、「継続は市民力なり」と言い換えることができ、多くの市民の皆様を支えられて迎えることができたこの10周年です。10年間で受講された総受講者数は17,465名、これが皆様のご支援・ご協力の実績数です。

これからの新たな一歩も「市民の皆様を支えられるカレッジ」として市民と共に歩む活動運営に努めて参ります。より多くの皆様が市民カレッジ活動にご理解いただき、ご参加くださいますよう、今後ともご協力よろしくお願ひ申し上げます。

いしかり市民カレッジ運営委員会 委員長 林 一元

2019年度もご期待ください！ 5～6月講座紹介

主催講座1「誰も知らない石狩海岸の素晴らしさ」 講師：松島 肇、内藤華子、安田秀子
第1回「全国的にも貴重な石狩海岸を知っていますか？」5/11(土) 14:00～15:30 花川北コミュニティセンター
第2回「海浜植物の特徴と保護の流れ」5/24(金) 14:00～15:30 花川北コミュニティセンター
第3回「海浜植物を知ろう！」5/31(金) 9:00～12:30 公民館集合・バス利用
大都市(札幌)のごく身近にありながら自然な砂浜海岸の姿を今も残す石狩海岸は、全国的に貴重な存在です。今回は、その素晴らしさを紹介し、海岸に生息している海浜植物の魅力も体感してもらいます。

主催講座2「アイヌと縄文」 講師：札幌大学教授 前旭川博物館館長 瀬川拓郎
第1回「アイヌはいつからアイヌに」5/20(月) 10:30～12:00 花川北コミュニティセンター
第2回「アイヌとはどのような人々か」6/3(月) 10:30～12:00 花川北コミュニティセンター
アイヌといえば、北海道のなかで自然と共生した人々というイメージをもたれがちです。しかし、かれらは本州や大陸と活発な交流を繰り返した交易の民でした。『アイヌ学入門』で第3回「歴史文化賞大賞」を受賞した講師が、交易民としてのアイヌの歴史と縄文人や縄文文化との関係について話をしてくれます。

主催講座3「明治期の商都小樽」 講師：小樽総合博物館学芸員 菅原慶郎
松前藩時代ヲタルナイ場所やタカシマ場所が置かれていた小樽は、安政2年に幕府が再び蝦夷地を直轄した後、元治元年には村並となり、急速に道央の物流と経済の拠点として発展してきました。この度は上記テーマに基づき、つぎのサブテーマで解説していただきます。第1回「明治期の小樽概説史～港湾・鉄道・文化など～」6/6(木) 第2回「住吉屋西川家の日記にみる小樽～近江商人で明治の小樽で活躍した商人の膨大な日記から商都を読み解く！～」6/20(木) 10:30～12:00 花川北コミュニティセンター

主催講座4「青年・大人の発達障害を考える」
講師：前札幌学院大学人文学部人間科学科教授 二通 諭
最近、発達障害ということが話題になります。子どもとは限らない『発達障害』、青年・大人にも有るようです！実生活や仕事などで苦勞されている方もいます。長年にわたり、障がい児教育の現場で取り組んできた講師から『発達障害』について学んでみませんか！ 6/26(水)10:30～12:00 花川北コミュニティセンター

まちの先生企画講座1「大人のための絵本セラピー」
講師：絵本セラピスト協会認定絵本セラピスト® 田中美千代
第1回テーマ「最初の質問」5/27(月) 第2回テーマ「いろいろな色」6/24(月)
第3回テーマ「あいうえお」7/8(月) 10:30～12:00 石狩市公民館
大人になってから、絵本を読んでもらったことありますか？自分をもっと好きになるための絵本セラピーで、絵本を使った大人のためのワークショップです。「絵本」を介して自分の魅力を再発見します。

市民カレッジデータ
(3月20日現在)

- 登録者～213人
- 連携団体～108団体



ロゴ制作者
丸山英里子さん

開校 10 周年記念行事を行いました

◇記念講演・記念講座・記念特別講座

市民カレッジ開校 10 周年を記念して昨年 5 月に寺島実郎氏による記念講演会、今年の 2 月 2 日に村山耀一氏による記念講座、また 2 月 16 日には田岡克介氏による記念特別講座をいずれも花川北コミュニティセンターで行い、好評裏に終了しました。

<記念講演> 平成 30 年 5 月 22 日(火) 「北海道 150 年～現状と将来」講師 寺島実郎(一般財団法人日本総合研究所会長、多摩大学学長) 参加者 240 人 講演概要 異次元とも云える高齢化が進む中で我々はどう生きてゆくかという重要な問題についてお話し



されました(あい風通信 37 号 [H30.7.1 発行] および HP トピックス欄参照)。



<記念講座> 平成 31 年 2 月 2 日(土) 「明治 4 年、私塾からはじまった石狩小学校～八幡小学校との統合を前にして～」講師 村山耀一(石狩市郷土研究会会長) 参加者 62 人 講演概要 明治 4 年私塾からはじまり、明治 6 年に公立石狩教育所として開設された石狩小学校は当時の北海道の教育で草分け的存在であった。147 年の歩みの中から特色ある史実を中心に興味深いお話しをされました(HP トピックス欄参照)。

<記念特別講座> 平成 31 年 2 月 16 日(土) 「市民とあゆむ～市長 20 年を振り返って～」講師 田岡克介(市民カレッジ学長、石狩市長) 参加者 214 人 講演概要 市長 5 期 20 年を振り返り、目指してきた方向性、市政に必要な市民力(市民参加)、「子ども」が政策課題の中心、石狩湾新港は現在も今後も大変重要、財政再建がようやく軌道に乗ったこと、厚田・浜益の素晴らしい自然など、石狩市の今日の姿がよくわかる大変思いのこもったお話しでした(HP トピックス欄参照)。



◇開校 10 周年記念式典・記念祝賀会



《記念式典》 林一元記念事業実行委員長の開会挨拶の後、田岡克介学長が挨拶し、御来賓の石狩市議会建設文教常任委員会委員長の村上求さまからご挨拶を頂きました。さらに市民カレッジ生代表の阿部靖さんの挨拶の後、表彰状・感謝状贈呈に移り、この度「マスター1800 修了証」(1800 講座)を受証された阿部靖さんに表彰状を贈呈、市民カレッジの創設に尽力され、その後は運営委員と

して市民カレッジへ多大な貢献をされた木戸口道彰さんに感謝状を贈呈しました。最後に、第 19 回修了証授与式を行い、田岡克介学長が出席した受証者 11 名に修了証を手渡し、記念写真を撮りました。



《記念祝賀会》 7 卓のテーブルを囲みなごやかに

行われ、今後の市民カレッジの在り方について意見交換する良い機会となりました。

アトラクションでは、厚田区地域おこし協力隊員の今野博之さんの朗々たるバリトン歌唱が会場を大いに盛り上げてくれました。

開校 10 周年記念式典・記念祝賀会は、滞りなく終了しました。

石狩管内教育実践奨励表彰に輝く

この度、いしかり市民カレッジ運営委員会が「平成 30 年度石狩管内教育実践奨励表彰」を頂きました。この表彰は、市民がいつでも学ぶことができる新しい学びの場づくりに取り組むとともに市民自らが講師となり市民同士の学び合いを促進する講座を企画するなどの成果を収めたことが評価されたものです。2 月 16 日の 10 周年式典の席で、北海道教育庁石狩教育局の柴田亨教育支援課長より、林一元委員長に授与されました。



受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた感想・ご意見を要約して紹介しています

◇講座8「北朝鮮を考える～現状と今後の展望」2回目

「隣国である韓国とは、積極的な話し合いをすることで友好関係を保ち、文化や経済面で互いに有益な関係にしてほしいことを強く伝わった」「現大統領のもとでの韓国について勉強になりました。『行いを憎んで人を憎まず』と云う心を互いに持って今後の日韓関係の未来を切り開いてほしい」「日韓の共通している、共有の制度、感覚等興味深く聞けた。また、選挙の仕方など日本との違いも知ることができた」

◇10周年記念講座「明治4年、私塾からはじまった石狩小学校～八幡小学校との統合を前にして～」

「石狩小学校の歴史を通して北海道の教育の歴史の一端がわかり大変素晴らしい内容でした。村山先生は大変詳しく調査されておられ、感銘しました。有難うございました」「大変勉強になりました。石狩小は残り1年になりますが、今回の講座の内容を閉校式典でも紹介できたらと思います。村山先生、貴重なお話有難うございました（石狩小校長）」「石狩小を誇りに思う気持ちが今日の講座を拝聴し一層強まりました」

◇まちの先生企画講座4「実践パソコン講座～ワードとエクセルをマスターしよう」

「知らなかったことが、とても便利に使える事が分かりました。感謝。何のマークか分からなかったのが解って良かった」「前回は感じましたが、質問に対して対応してくれる先生が一人しかいないためなかなか作業が進まない、スタッフが何人かいて欲しい」「いかに自己流で行っていたか分かりました。同じ幅にするなど、忘れてたやり方を思い出しました」「出来ればもう少し時間が長い方が良いです」「PCが面白くなってきました。できれば10回程度あれば良い。費用は負担します。又、お願いしたい」

🌟公民館まつりに参加しました🌟

今年も3月2日と3日に行われた公民館まつりに参加しました。1階「展示会場」で、開校10周年記念事業や30年度開催講座の様子を写真で紹介するパネル展示を行いました。多くの市民が訪れ、スタッフの説明に耳を傾け興味を示しておられました。2日間で、3名の方がカレッジに賛同して新しく仲間に入ってくださいました。また、32名のカレッジ生の方が年度更新手続きを済まされました。ご協力ありがとうございました。



学ぶよろこび カレッジ生

新しい仲間を募集中 学びの輪を広げよう

創るたのしさ ボランティアスタッフ

◆入学は簡単です

年度会費(4～3月)1,000円を添えて事務局へお申し込みください(電話・カレッジ講座会場でも可)

◆カレッジ生になると

- ・「学びの記録」手帳を交付
講座受講毎に手帳にスタンプを押印し、規定数に到達すると素敵な修了証がもらえます
- ・受講料 1回400円(一般500円)
- ・申込多数で抽選が必要な場合はカレッジ生優先
- ・お得な情報を提供

情報紙「あい風通信」を年4回発行し郵送
カレッジ生のみなさま、学ぶよろこびを、知人・友人にご紹介ください。ご協力をお願いします。

いしかり市民カレッジは、市民のみなさまと共に講座を創って11年目を迎えました。

- ◆運営は、市民ボランティアと石狩市教育委員会との協働で行っています。
- ◆活動は、2つのグループで分担して行っています。
 - ・企画・事業グループ：講座の企画・実施
 - ・総務・広報グループ：広報・連携団体等連絡調整
- ◆市民の多様なニーズに応えるには、まだまだボランティアスタッフ(運営委員)が足りません。
- ◆あなたも運営スタッフに入って講座づくりに参加してみませんか。きっと、新鮮な出逢いと創りながら学ぶ楽しさを実感できると思います!!
- ◆興味・関心のある方は事務局へお電話ください

連絡先 いしかり市民カレッジ運営委員会事務局 (石狩市公民館 TEL0133-74-2249)

チョコっと
いしかり学
《 8 》

もう一つの石狩街道

～道々44号 手稲石狩線～

村山 耀一

「石狩街道」というと、札幌市北7東1を起点に、創成川沿いを北へ向かい茨戸、花畔を経て石狩河口部（本町地区）までの道路の通称でした。しかし、もう一つ「石狩街道」と呼ばれていた道路がありました。それは石狩手稲線と呼んでいる道々44号線です。

この道路は明治21年8月に着工し、翌年8月に開通され軽川（現手稲）と石狩を結ぶ道路として造られました。それは駅のある軽川を基点に鮭と鯿で繁栄していた石狩、厚田方面への人の通行と物資の輸送のための重要な交通路でした。この道路には大正11年から昭和15年まで軽石鉄道と呼ばれた馬鉄が敷設され軽川と花畔の間で営業していました。軽川の人たちは軽石鉄道と共にこの道路は直接石狩と結ばれている道路でしたので、石狩街道と呼んでいたのです。私は戦後の少年時代、手稲町字前田に住んでいたとき、石狩街道と呼ばれていたことを覚えています。

しかし、この道路は昭和初期までは道路とはいえない程、ひどいものであったのです。泥炭地や湿地帯を通るため夏はともかく秋の降雨や春の雪解けの時期には全面田圃のようになり、馬車も車輪の心棒までぬかり、馬もぬかって通れなかったことがしばしばあったと言い伝えられています。悪路だ



った道路もその後、砂利や碎石を入れて補修が繰り返されて来たのです。現在この道路はすっかり整備された四車線の舗装道路となり石狩と手稲を結ぶ交通量の多い幹線道路としての役割を担っています。私たちはこの道路を「石狩手稲線」と呼んでいます。今は「石狩街道」とは呼ばれていたことを知る人は少ないと思います。

◇HP はこんなに便利～ご活用ください～

ホームページには多くの機能があります。ぜひ、ご活用下さい。

- ①「トピックス一覧はこちら」五つのトピックス記事の下にあり、HP開設以来すべての記事を掲載。
- ②「年間カレンダー」トップ画面中央右側にあり、年度内記事を月別に分類。
- ③「募集中の講座」画面の下部にあり、募集中の講座申込が出来る。
- ④「～月の対象講座」各月のカレッジ対象講座を掲載。
- ⑤左側コンテンツの「今年度の講座一覧」カレッジが主催する当年度講座一覧を掲載。
- ⑥「講座案内・申込」カレッジが主催する講座を個々に詳しく紹介、申込も出来る。またこれまでの講座情報も掲載。
- ⑦「あい風通信」あい風通信・あい風通信～お知らせ版～の情報を掲載。



編集後記

カレッジが10周年記念を迎えることができたのは、カレッジ生と市民の熱心な参加があったことにほかなりません。

あい風通信も40号になり、講座の案内をみなさんにお知らせしてきました。その他に、村山耀一氏に「チョコっといしかり学」の連載をしていただき、石狩の歴史を知ることができました。

また、皆さんからいただいた声を生かした講座を考えていきたいと思っておりますので、どしどし意見を聞かせてください。(R・M)

発行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：鈴木、石井、徳田、三上、光川

お問合せ 石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42 TEL&FAX：0133-74-2249

E-mail：kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#)